

## 第19回青森県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 意見総括

7月10日（月）に開催した第19回青森県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議では、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類感染症に変更された5月8日以降の県内外の患者の発生動向や、医療提供体制に係る県の対応状況等について報告を行い、委員から御意見をいただいた。

また、県民の皆様に分かりやすく患者の発生動向が伝わるための手法等について御意見をいただいた。

会議における主な意見としては、

- 感染が急拡大している沖縄県では、XBB系統の変異株が増えており、今後、全国や本県でもこの変異株による感染の波がくる可能性がある
- 季節性インフルエンザのような警報や注意報の数値的基準を設定できるかどうかを含め、県民の皆様に分かりやすい形で注意を促す手法があった方がよいなどがあった。

県としては、いただいた御意見等を踏まえ、引き続き、臨機応変に新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいく。